

会 議 録

会議の名称	令和元年度行田市日本遺産推進協議会
開催日時	令和元年7月22日（月） 開会：午前10時00分 閉会：午前11時45分
開催場所	行田市役所 305会議室
出席委員氏名	石井会長 小川委員 小森谷委員 相沢委員 山本委員 小池委員 山崎委員 阿久津委員 中村洋子委員 持田委員 中村真一委員 坂本委員 村田委員
欠席委員氏名	山崎委員 劔持委員
出席オブザーバー氏名	行田青年会議所：三島理事長 ものづくり大学：宮本参事・教務課長 NPO法人魅力創造倶楽部：町田理事 NPO法人観光物産会：今津専務理事
事務局	総合政策部：畔上部長 企画政策課：菅原課長、川上主幹、横倉主査、高梨主事 商工観光課：森原次長、近藤観光戦略推進幹 都市計画課：青山課長、寺田まちづくり推進幹 学校教育課：荻原次長 文化財保護課：中島課長 郷土博物館：鈴木館長
会議内容	(1) 平成30年度事業報告について (2) 平成30年度収支決算報告について (3) 令和元年度文化庁補助金申請の内容について (4) その他
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 委員等名簿 ・ 行田市日本遺産推進協議会規約 ・ 資料1 平成30年度事業報告・収支決算報告 ・ 資料2 平成30年度主要事業報告 ・ 資料3 令和元年度文化庁補助金申請事業一覧 ・ 資料4 都市再生整備計画に基づくまちづくりの取組みについて ・ 資料5 観光まちづくりの取組みについて ・ 参考資料 日本遺産認定前後の各種データ
その他 必要事項	傍聴者 なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ（石井会長）</p> <p>3 議事</p>
司 会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事に入る前に、この会議の運営に関する取扱いについてご了承いただきたい点が2点あるので説明する。 ・ 1点目として、本日の会議の議事の中では、個人情報を取扱う予定がないことから、会議は公開とさせていただく。 ・ 2点目として、会議録については、要点筆記とし、協議会のホームページにおいて後日公開する。 ・ それでは、議事に移らせていただく。議事については、協議会設置要綱の規定に基づき、石井会長に議長として進行をお願いする。
石井会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日は、昨年度実施した事業と収支決算について報告させていただくほか、前回承認をいただいた今年度事業について、金額等の一部変更があるのでその説明をさせていただく。それでは、「議案第1号 平成30年度事業報告について」及び「議案第2号 平成30年度収支決算報告について」は、関連があるので一括して議題とする。事務局より説明する。
事務局	<p>（1）平成30年度事業報告について（資料1・資料2・参考資料により説明）</p> <p>（2）平成30年度収支決算報告について（資料1により説明）</p>
石井会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ただいまの説明について、ご意見等はあるか。
相沢委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料2の平成30年度主要事業報告の①足袋・足袋蔵デジタルプロモーション事業についてだが、ウェブサイトの多言語化やインフルエンサーによる情報発信による反響はどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウェブサイト多言語化については反響が把握できておらず、今後その把握に努めていく。インフルエンサーによる情報発信については、若者に人気のあるインフルエンサーを11名採用し、SNSにおける「いいね」の合計は数千に及んだ。「いいね」を押した若者の中には、実際に行田を初めて訪れた、といった内容の書き込みも見られ、若者への観光PRが図られたと認識している。

石井会長	・博物館のパネル展示について、アンケートは実施していないのか。
事務局	・パネル展示についてのアンケートは実施していない。現在開催中のテーマ展においては実施している。
石井会長	・事業の来場者の傾向や反響の把握、今後実施する事業に反映させるためにも、可能な限りアンケートは実施するべきである。 ・足袋製造実演技術者養成講座の参加者は、現在では足袋製造実演を行っているとのことだが、どれ位の報酬が支払われているのか。
事務局	・製造実演が行われている場所が半ばボランティア施設ということもあり、有償ボランティアとして時給500円程度が支払われている。
石井会長	・技術者を養成したとして、それを職業化できるような方向性で養成講座は実施されているのか。
事務局	・そのような方向性で実施できれば望ましいと考えている。
石井会長	・養成講座を実施した結果、収入や職業につながるように事業を進めてほしい。 ・主要事業報告に足袋蔵利活用のマーケティング調査があったが、足袋蔵の利用促進にあたり、どのような取り組みが行われて、その結果はどうなっているのか。
事務局	・足袋蔵の保存状態の確認、活用における所有者の貸出しや活用などの意思確認を実施した。それらを踏まえ、観光協会などと協力し、足袋蔵の活用について働きかけているところである。
石井会長	・足袋蔵の活用については、日本遺産認定以前から取り組んでいるはずだが、それ以前の取組みからの経過として、現状どうなっているのか。
事務局	・平成25年に市が制度化したふるさとづくり事業から足袋蔵の活用促進が本格的に始まり、限られた予算の中でこれまで実施しており、現状としては先に述べたとおり、再活用に向け取り組んでいるところである。
石井会長	・足袋蔵の活用について、今後においても進捗状況を報告してほしい。

石井会長	・ぶらっと行田の売り上げについて、ドラマ「陸王」の影響により、増加しているとのことだが、「陸王」以外の要因によって売り上げが増加したということはないのか。
事務局	・土産物に乏しいなかで、新商品の開発などを地元企業に働きかけた結果が、少なからず売上額の増加に影響していると考えている。
石井会長	・企業への働きかけを行ったとのことだが、その結果についての報告はあるのか。
事務局	・平成30年度からの出展については、6～7点の新商品が生まれた。
石井会長	・収支決算内の調査研究事業費が減少しているが、どのようなことが要因なのか。
事務局	・調査対象とする建物の棟数を減らしたことが要因となる。
石井会長	・それでは、続いて議案第3号「令和元年度文化庁補助金の申請内容」について、事務局より説明する。
事務局	・ (3) 令和元年度文化庁補助金の申請内容について(資料3により説明)
石井会長	・ただいまの説明に対して、ご意見等はあるか。 <p style="text-align: center;">＜意見なし＞</p>
石井会長	・それでは、続いて議案第4号「その他」について、事務局より説明する。
事務局	・ (4) 都市再生整備計画に基づくまちづくりの取組みについて(資料4により説明) ・ (5) 観光まちづくりの取組みについて(資料5により説明)
石井会長	・ただいまの説明について、ご意見等はあるか。
小川委員	・さきたま古墳公園の管轄は市ではなく県であることは承知しているが、古墳公園周辺に土産物を購入できるような販売所の設置等は計画していないのか。
事務局	・さきたま古墳公園については、県より古墳公園内に「さきたま市場」として販売所等の設置する構想をお聞きしている。さきたま市場の実現に向け、県と意見交換を行っているところであり、本市の要望も伝えていきたいと考えている。

石井会長	・引き続き進捗状況について、報告をいただきたい。
中村委員	・行田市は坂のない街とPRしており、自転車での観光は非常に適していると考えているが、街中を観光する際には不便だと思われる。自転車専用レーンなど自転車でも周遊しやすい工夫が必要だと考える。
事務局	・行田市は坂のない街を観光における一つの柱と考えており、レンタサイクルをはじめとするサイクリング環境の整備や、周知をこれからも図っていききたい。
小川委員	・ぶらっと行田を商工センター1階から2階へ移転するという話を耳にしたが、現状どのような状況なのか。
事務局	・資料5に記載のある物産販売拠点の整備に関する計画において、2階の現在のパブリックホールを改修し移転することを予定している。
小川委員	・ぶらっと行田の存在は外から分かりにくく、市外からの観光客が利用しにくい状況である。また、市役所周辺施設への案内板を設置するなど、観光客の利便性向上のための今後の予定について伺いたい。
石井会長	・まず、自転車利用についてだが、自転車は道路標識や年齢によって走行できる箇所が分かれており、必ずしも自転車は車道を走行しなければならないという訳ではなく、歩道を走行できる箇所も存在する。そのような違いを警察などと協議しながら、自転車利用者が簡単にわかるような表示や案内を設ける必要があると考える。また、ぶらっと行田の2階への移転についてはあくまで現時点での計画だが、施設としての利活用も含めて、今後も検討していく必要があると考えている。
村田委員	・日本遺産認定前後における外国人観光客数等のデータを把握しているのか。
事務局	・外国人観光客の実数については把握していない。今後、外国人観光客の受入れにも注力してき、観光案内所等にて、国籍別データの取得に向け、準備をしているところである。
村田委員	・感覚的な外国人観光客の傾向についてはどうか。
事務局	・欧米圏の外国観光客については、少ない現状である。一方で、香

石井会長	<p>港や台湾といったアジア圏の国からは、個人旅行だけではなく、バスツアーなどを利用し、古代蓮の里等の市内観光地を訪れる観光客が増加している。</p>
小川委員	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の統計については、アンケートなどを実施し、傾向などを把握すべきである。憶測等での判断は危険であり、方法を模索してほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 行田を訪れる外国人観光客の傾向を分析し、どのような方が訪れるのか把握できれば、外国人観光客の増加につながるのではないかと。
小池委員	<ul style="list-style-type: none"> 行田市の外国人観光客は、古代蓮の開花時期に合わせて、アジア圏の観光客が増加している傾向である。埼玉県観光課においても、アジア圏からのインバウンド増加に注力しており、蓮の開花時期には県からの提案等を頂いているところである。また、市からも近隣都市との連携実施について、県へ要望を出しているところである。
石井会長	<ul style="list-style-type: none"> 商工センター1階には以前レストランが入っていたが、賃料が高いとの理由で撤退した。新たな事業者が参入しやすいような仕組みについて、市で考えるべきである。また、ぶらっと行田の移転についてだが、商工センター内での階層の移動ではなく、もっと観光客などから目に付くような場所を再検討すべきである。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 他にはよろしいか。以上をもって、本日の議事を終了とし、議長職を解かせていただく。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 以上をもって、令和元年度行田市日本遺産推進協議会を閉会とする。 <p style="text-align: center;">< 閉 会 ></p>